
旅はトラブル・・・当たり前

哀樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

旅はトラブル・・・当たり前

【Nコード】

N8825D

【作者名】

哀樹

【あらすじ】

これは、此処じゃない宇宙に広がってるパラレルワールドの一つに住む、一人の男の子の物語。トラブルや、ほのぼのや、シリアスや・・・まあ色々・・・な、お話です。

prologue

〈序〉

それは、ココじゃないどこか。

空気は澄んでいて、適当に悪者がいて、適当に善人がいて、

適当に凡人がいて・・・そんなもって、時々天使や悪魔がいたり。

時々神や魔神がいたり王様がいたり女王様がいたり・・・

これ以上はきりがないけれど最後に、

世界は一つじゃあなかった。

prologue

それは、夢のような悪夢で、甘くて苦くて切なかった。

その人が語りかけてきたことは、まさにそんな感じなことによく、わからなかった。

「お前は魔導師なんだよ」

そう言ったのは、一人のきれいな人だった。紅い髪で冷たいエメラルド色の眼。

僕はその人の紅い髪を見たとき、自分の時が止ったかのような錯覚に陥った。

それ程、キレイだった。

キレイ・・・いや、言葉に表せないな。

だけど、衝撃だったのは会った事よりも、その人の言葉だった。

その言葉の後の間は、その人の髪が風になびいてまた降りてくるぐらいだった。

「え・・・？」

また間

「は・・・？」

また間

「・・・ま、魔導師??？」

「そう。魔導師」

そう言った否、そういわれた後からトラブルに巻き込まれるはめ

になった。

これは、僕がその人に会ってから起こった物語。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8825d/>

旅はトラブル・・・当たり前

2011年1月16日14時48分発行